

東海方面

岐阜都市計劃街路整備決定

兼ねて申請中であつた。岐阜都市計劃街路が左の通決定された

一 廣 路 幅員 二十四間以上

二 一等大路

第一類 幅員 二十間以上

第二類 幅員 十六間以上

第三類 幅員 十二間以上

三 二等大路

第一類 幅員 十間以上

第二類 幅員 八間以上

第三類 幅員 六間以上

◎ 撫斐縣道改修工事竣工近づく

岐阜縣揖斐町から大垣方面へ通する縣道南街道の揖斐榮町地内二百八十間餘の道路歩擴め改修工事は曩に縣費一萬四千圓、町費三千五百圓その他敷地及移轉新設寄附費一萬二十餘圓總工費四萬圓を以つて十四五年度繼續事業として十四年六月より起工したが、該工事は道幅四間のほかにコンクリート造りの人道及悪水路を設け郡内第一位の道路で、竣工の暁は揖斐榮町の面目は一新されるであらう。

出来上った川中橋

愛知縣西春日井郡川中村では名古屋市東區武平町通を北進し小牧、犬山町を経て各務ヶ原から岐阜市に通する重要な道路が同村を通すにも拘らず矢田庄内兩川に架橋なき爲中繼されるのが遺憾としこれが連絡を企て第一期工事として川中橋架設の工を起してゐたが此程漸く完成したので近く開橋式を行ふはずである。

中川運河の淨水設備と兩側道路擴張問題

名古屋市では中川運河に淨水設備がないため、同運河完成の曉には河水が腐敗し、衛生上多大の弊害の生計るをおそれて、今後適當な財源を發見して淨水設備を爲すべく調査中であるが、此の程更に將來の爲考慮すべき點を發見したので、之を更正すべく以下銳意調査を進めて居る。即ち中川運河の堀止より堀川に通する約六百間の運河兩側の道路は、現在の設計に依ると幅員三間となるが、之は將來の交通量から割出すると妙くとも八間に擴張しなければ、交通輻輳し忽にして行詰るので之を改正しやうと云ふにあ

る。然し擴張に要する費用は百萬圓内外を要し、財政緊縮の折柄斯かる莫大な金を生み出す事は容易でなく、又出來るとしても主務省が此の起債を許すや否やに頗る疑問とされてゐる。尙ほ堀川より堀川に通る運河の幅員二十間を更に五間擴張すべしとの運動があるが、市では之を擴張するには妙くも百萬圓の追加豫算を要し、且つ堀川の幅員が十五間であるから其必要を認めぬと云つてゐる。

近畿方面

肥後橋渡邊橋の架け換工事始まる

大阪市都市計劃街路南北線の中肥後橋から信濃橋に至る第一期の路面擴張工事は、地下埋設物の處理が遅々として進まなかつた爲、約一年半の間住民を困らせ地主から陳情や強談を蒙り、市會の問題とまでなつて世間から非難的となつて居たが、いよいよ四月二十五日工事が竣工したので、往來止めの立札も撤回された。地元もこれで大喜びで、悪い時ばかり文句を言つてゐるのが能でもない。此う立派に出来上つたからには、一つ大に祝賀會でもやうと思つてその準備をやつてゐる。尙市では信濃橋以南四橋までの擴張工事を引續いて初めて、着々用地の買收をすゝめてゐる。一方肥後橋から渡邊橋にいたる區間の擴張工事も、いよいよ近く起工の筈であるが、此區間は東側に中央郵便局、西に大阪瓦斯會社といふ大きな建物が對立して居り、郵便

局の側は六間、瓦斯會社側は一間半削ることになつて居るから用地買收に多少手間どつてゐたが、郵便局も瓦斯會社も近々移転することに決定したので、近く工事に着手されるであらう。又木津川新橋から斜に肥後橋南北線まで走つて南北線と聯絡する十六間幅の梅田九條線も土地買收を初めてゐるが、この線路は十五年度から十七年度までの繼續事業となつてなり、殆ど大部分が新設であるだけに仕事は一層困難と見られてゐる。しかしそれが完成すれば南北線とは丁字型の大幹線が出来、その上大川線が出来るとなると全く理想に近い街路網が實現される譯である。そして市ではこれらの大道路を南北に聯絡のため、肥後橋と渡邊橋の改築工事を開始した、この兩橋は水の都を飾る姉妹橋としてできる限りの藝術味を見せようとの趣旨で、市では特にこれが意匠を京大武田博士へ依頼したほどであつて、その設計に依ると肥後橋は延長百六十七尺、幅員十五間三徑間にして橋の中央は上路鋼鈎桁式二鉄拱、兩側は鐵筋コンクリートの拱となし、四本の飾り柱を立てて、飾り意匠などしてすべて肥後橋と同型のものにする。様式は兩橋共スパンシユルネサンス式の新らしいもので明年二月までに完成の豫定である。

なほ南北線渡邊橋北詰から梅田阪神電車前までの路面擴張工事は大正二十二年度の事業計畫に屬し市ではまだ何等考へてゐないが、此は南北線渡邊橋北詰から梅田阪神電車前までの路面擴張工事は大正二十二年度の事業計畫に屬し市ではまだ何等考へてゐない

少年交通會議開催

帝國交通協會では五月二日午前十時から電氣博第一會場（築港）

に於て、我國最初の試みである「少年交通會議」を開催し、児童に對する交通災害防止の徹底的普及を圖る事になつた。當日は一千名の少年が午前九時市立運動場に集合音楽隊を先頭として會場に入場、座長議長の選舉を行つた後議事に入り大體左の事項を宣言決議した。

- 一 街路で危険な遊は止めませう。
- 二 街路の美觀を保ち危険なる硝子の破片など捨てぬやうにしませう。
- 三 交叉點踏、切などを横切る時は左右に注意し電車や自動車荷馬車などに氣をつけませう。

四 老人盲人などが通行するときには特に親切にして上げませう

都市計劃に西宮市の區域

兵庫縣西宮市は四月一日から都市計劃市に指定されたので、兵庫縣都市計劃課では其の區域決定に就て調査中であつたが、此程大體の成案を得たので近日中に主務省に進達する筈である。爾來問題になつてゐる精道村以西を如何にするかに就ては、同村は元荏原郡に屬してゐたため神戸の區域に編入すべしとの説と、西宮に加ふべしとの兩説に別れてゐるが若し西宮市に編入されることになると都市計劃區域は西宮市と今津町、鳴尾、瓦木、芝、申東大社、精道の一市一町六ヶ村を含むことになり、孰れにしても武庫郡は殆ど其部尼崎西宮、神戸の孰れかの區域に屬し殘るは僅かに良元村と山田村の一部のみとなり阪神間は殆ど市の連續のかたちとなる譯である。

大阪府十大放射路線案可決

五年來の懸案で一時は沙汰止みとまで噂された府の十大放射路線案も五月十八日午後一時府會議事堂で開かれた委員會本會議で漸く内務省の諮詢案に對し（一）路線の屈曲を少からしむること（二）橋梁工事を急施されたきこと（三）事業年度を繰上げられたきことの三希望條件を附し原案を可とする答申を出すことに決したので近く各種の手續を完了次第確定議として陽の光を見る、ととなつた。

浪花電鐵協會開催

五月五日六日の兩日大阪市電氣俱樂部に於て浪花電鐵協會の例會を開いた、同會は大阪市を中心として經營する地方鐵道軌道會社關係者の集會であつて鐵道軌道に關する研究を目的とするものである。

當日は内務省からは田中土木事務官、佐藤技師、鐵道省側からは大山五十嵐兩事務官林小池兩技師が出席し、京都大阪兵庫奈良滋賀和歌山の各府縣關係官列席左の事項に就て研究を述べた。

一 地方廳ニ於テハ軌道法第六條ノ規定ハ道路法河川法砂防法ニ關係オキ水路溝渠ニ適用セサルモノトノ解釋ヲ採用シ居レト
立法ノ趣旨ヨリ見ルトキハ之ヲ包含スルモノト解スルが妥當ナルカ如シ
二 假停留場ノ設置又設置期間ノ伸長ハ地方鐵道法施行規則第二十五條ノ準用ニ依リ主務大臣へ認可申請ヲ要スヘキヤ地方鐵

道法施行規則第十八條ノ七及軌道法地方長官委任事項ノ(ヨ)

(ダ)ニ準シ地方長官ニ届書ヲ提出スレハ足ルモノナリヤ

三

軌道力道路又ハ溝渠ヲ横断スル場合軌道法第四條及第六條ノ適用ニ關スル件

四

軌道力道路ノ占用ヲナスハ棚又ハ門扉ヲ以テ占用區域ノ境界

ヲ認ムルカ將々前後ノ軌道用地境界線ノ延長以内ヲ專用部分ト認ムルカ判然セス申請ノ際任意査定シテ許可又ハ承認ヲ受

ケ得ルモノト解スヘキカ尙許可又ハ承認區域内ノ配線變更

(主トシテ増加)ハ地方鐵道法施行規則第十八條ノ十二ニ依ル届出ヲ爲スニ止マリ道路ノ占用ニ關シテハ當然新タニ許可又ハ承認ヲ受クル必要ナキモノト解シテ差支ナキヤ

五

法第九條ハ管理者ニ於テ軌道ニ平行シテ其ノ一側又ハ兩側ニ於テ純軌道敷ニ觸レス其ノ以外ノ線路敷ノ餘地即法敷側溝敷等ニ道路ヲ築造スル場合ニモ適用セラルモノナルヤ

一

大阪電氣軌道株式會社提案

一 地方鐵道法施行規則第十八條(ハ)踏切道ノ增設ト軌道法第二

十五條ニ依ル職權委任事項第二條(ル)踏切道ニ關スル工事ト

ノ關係如何

地方鐵道法施行規則第十八條ハ新設軌道ニ準用セラル、ナ

以テ踏切道ノ增設ハ地方長官ヘ届出レハ可ナル如ク解セラ

ル設計變更又ハ廢止ノ場合ハ地方長官ノ認可ヲ受クルヲ要

スル如シ夫レトモ前者ノ場合ハ主務省ヘ届出ヘキモノナリ

ナ

二

地方鐵道法施行規則第二十一條但書ノ場合ハ別ニ第二十二條

ノ手續ヲモ要スルヲ執レカ一方ノ手續ノミニテ可ナシヤ

シテモ着手竣功屆ヲ提出スヘキモノナリヤ

三 委任事項(メ)ニ舉クアル引込線、側線、避難線及待避線ノ各

二對スル明確ナル定義ヲ下サレタシ

四 委任事項(レ)車庫ニ關スル工事ハ軌道配線、架空氣線路ノ構造ヲモ包含シタル意味ナリヤ

五 委任事項(ツ)饋電ニ關スル工事ハ饋電方式ノ變更即電壓ノ變更ヲモ含ムセラルナリヤ

六 地方鐵道法施行規則第十八條ニ依リ届出ニテ可ナル工事ニ對シテモ着手竣功屆ヲ提出スヘキモノナリヤ

七 工事方法書附屬圖中橋梁溝橋等ノ橋杆標準圖ヲ提出スルニ止メ個々ノ角度毎ノ圖面提出ハ省略スルコト能ハサルヤ

八 道路構造令所定ノ幅員ナク又何時擴張セラル、カ不明ノ府縣道ニ對シテハ踏切道ノ幅員並勾配等モ相等寛大ノ取扱ヲ受ケタシ

九

軌道法ニ關係アル各種内規制定又ハ變更毎ニ各會社ヘ之ガ通運ヲ願ヒタシ

十 軌道力他人ノ軌道ヲ合併シタル場合車輛ヲ相互ニ乘入レ運轉セムトスルトキハ地方鐵道法施行規則第二十六條ヲ適用セラル、モノナルヤ

十一 保安設備ニ就イテ

十二 車輛ノ監査ニ就イテ

十三 旅客運送規則ニ就イテ

尙時間の餘裕を得て左の講演があつた。

勞働爭議調停法に就いて 鐵道事務官 大山秀雄

道路と軌道

車輸に就て

乗合自動車法に就て

保安設備に就て

軌道運賃に就て

内務技師 佐藤利恭

鐵道技師 林清憲

土木事務官 田中好

鐵道事務官 増永之也

五十九風明

四國方面

漸く起工した古川縣

萬象みな新しく萌え芳江の碧、初夏の空を映じて、いよいよ清

澄を加ふる橋月八日、歴史的に七十萬縣民が等しく熱望したりし、吉野川改修大工事の竣工式に伴ひ、これまで縣民多年の冀望たりし、古川橋の起工式を市外加茂村、吉野川南岸の地に於て、盛大に舉行された。

此日前日氣遣はれし天候も一天詫ふが如く晴れ渡り、吉野川一

帶平野を吹く薰風氣持ち好く、助任西町は各戸國旗を掲げ、小國旗を軒から軒へと引廻し、幟幕を張り祝賀アーチは四ヶ所に建てられ、町内に美しく飾り立て何れも業を休んで祝意を表した。

古川橋附近一帯は、朝來人を以つて埋めその數幾萬と註せられ、

流石に廣き地も黒山を築く、定刻に至り、一同起立降神奏樂裡に、神饌を供し、齋主祝詞を奏上、次で齋主の玉串奉奠あり、祭員列拜神饌を撤して昇神、知事の式辭、内務大臣、來賓總代、縣會副議長の祝辭ありて、午後

零時三十分茲に意義ある式典を終り一同退席、斯くて式後改修工事事務所にて、園遊會に移り石田代議士其他の卓上演説あり、歡

聲湧くが如く萬歳三唱午後二時二十分散會した。

餘興には餅投、圓形競馬

あり天候申分なきこととて、大に刺激され夜ば古川假橋を背景に、煙火をあげ大に盛つた。

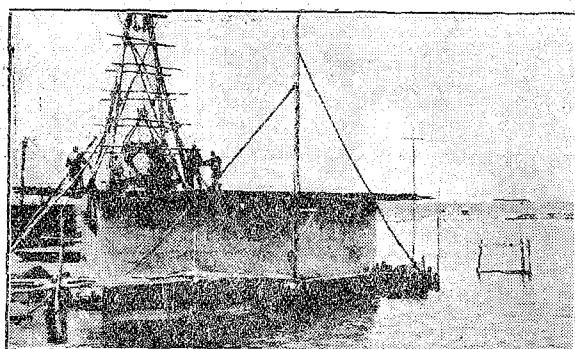
當日の内務大臣祝詞並知事式辭は左に掲ぐ、

祝詞

二十一號國道古川橋架設準備成り茲に本日を以て起工式を舉ぐるに至れるは邦家のため欣幸とする處なり

抑々二十一號國道は二十二號國道と相俟つて四國北部に於ける唯一の交通路に屬し徳島高松兩市を連絡する極めて重要な地位を占むるに拘らず從來纔に假橋に

依りて其連絡を保てるに過ぎず而も一朝出水に際會せば直に交通絶するの狀態に陥るを憾とし官民協力の下に茲に架橋計畫の成るを見るに至る願ふに本工事は吉野川の水流に抗せざるべからざ



(も)門橋川町新及橋假舊業作下沈井沈號貳拾第

ると架橋の長大なるに依つて之が實施上苦心の存する大なるものあらむ冀くは最善の努力を以て之が完成を期せられんことを一言述べて祝詞とす

大正十五年五月八日

内務大臣 若槻禮次郎
式辭

茲に本日を下して國道二

十一號線古川橋架設起工式

を舉ぐるに當り多數貴賓賀

臨を辱ふるを得たるば洵

に欣幸とする所なり抑國道

二十一號線は河北交通の幹

線として重要な地位を占

むるに拘らず中央吉野川の

横断するあり從來縦に便橋

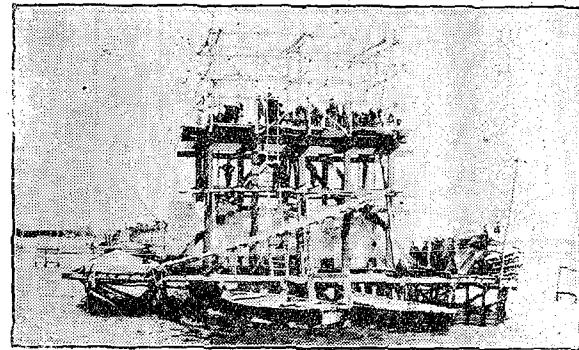
を以て其の連絡を圖るに過ぎず而かも一朝出水に際會

せば交通運輸忽ち絶え不利

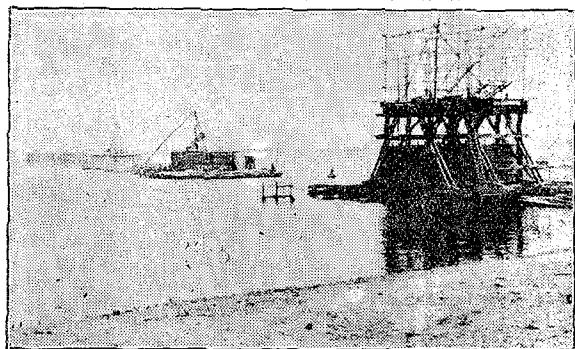
のもあり是を以つて縣民は

多年之が架橋の急務なるを痛感せりと雖工費の巨額なる容易に其志を達するに至らず常に以て遺憾としたり

曩に十一大橋架設の計畫成るや本橋亦其の選に入り多額の國



第拾參號沈井吊下作業



四 拾 号 著 事 事 關 係 職 員 及 請 負 人 の 热 情 と 雖 監 督 官 廳 の 指 導 と 地 方 人 士 の 援 助 に 俟 つ 所 亦 頗 る 大 な る も の あ り 希 く ば 工 事 に 從 ふ 諸 氏 宜 し く 此 の 趣 旨 に 依 り 緯 期 の 工 程 を 竣 へ 以 て 本 縿 交 通 上 の 面 目 を 一 新 せん こ と を 一 言 以 つ て 式 辞 と す

大正十五年五月八日

德島縣知事 小幡豊治

起工式を挙げた古川橋は、既に三戸岡組の手に依つて、下部構造は最も順調に進行しつゝあるが、古川橋は吉野川最初の橋梁であり、その長さに於て彼の東洋一と稱せらるゝ鴨緑江よりも長く

庫補助を受けて工事を起し今や著々其の歩武を進めつゝあるは實に欣喜に堪えざる所なり本橋は其交通上の地位に鑑み規模雄大結構堅牢なるのみならず其の橋長に於て全國未だ之が類例を見す之が完成の日は交通上至大の効果を齎すのみならず地方文化の進歩と産業の發達に寄與する所亦尠少ならざるべ

實に三千五百三十一尺四寸四分六百間に近き長橋で、これが竣工の上は、上流第十樋門と共に全國に誇るべき、大工作物となるが、

橋名は當局にあつても適當に命すべく攻究くが、地方民もこれを

希望して居り、吉野川橋或は徳島より天下の鳴門へ向ふ橋として、

鳴門橋など云はれてゐる。

いま設計の概要を掲げて、筆を擱く

設計概要

一位置 國道二十一號線

(自、名東郡加茂村、至、板野郡應神村)

橋體構造 鋼鐵「ワーレン」式「カーブド、コード、ツラス」

橋長 一糺〇七(三、五三一尺四四)

有効幅員 六米〇六(二十尺)

徑間 六三米(橋臺胸壁面より橋脚中心に至る)二連、六

二、九米(橋腳中心、十五連)

一橋 床 鐵筋コンクリート床版橋面は「アスファルト鋪装」とす

一橋 脚 井筒基礎、鐵筋コンクリート造十六基

一橋 臺 鐵筋コンクリート二臺

一工費 百四十五萬四千百九十四圓(但國庫補助額百〇九萬六百四十五圓)

内 (百三十九萬六千百圓)(架設費)

内

一百一萬三千五百七十九圓(上部構造工事費)

(三十八萬二千五百二十一圓(下水構造實施工費))
一年度 自大正十年度至大正十七年度

九州方面

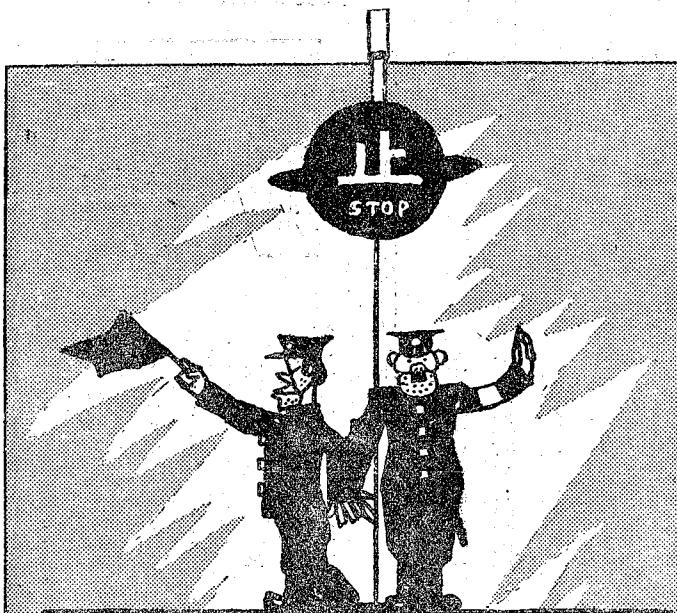
犬鳴越町村道改修問題

福岡縣鞍手郡吉川村から隣接柏屋郡久原村に通する犬鳴越通路は、以前郡道であつたものが縣移管洩れとなつて町村道とした儘

現在に及んで居るが、近頃この道路の交通は頓に頻繁となり、延長二里餘が殆ど一間幅で現状では到底交通に順應出来ぬから速かに改修する必要に迫られてゐる仍で前から、兩郡有志間に屢々問題となつた處最近又々速成の議が起り、五月十七日兩郡委員は若

宮村役場に參集して聯合協議會を開催した。而して右道路を開鑿隧道の何れの方法によつて改修するかは決定してゐないが、柏屋側では極力開鑿說を主張すべく兩者は是非得失を研究して居る。





東京は日に日に交通が乱雑して来るので當局も交通整理のため上圖の様な
○○だの下圖の様な○○だのを發明したが一向怪我人も減らははし自動車自轉車
電車の傷突が減った様子が見えない。ホントにお元の毒様だ。

